

# スマート化に対応した移動体無線システムに関する調査検討会を開催 〈社会実装に向けて地域ニーズの把握とサービス形態を検討〉



第1回調査検討会の様子

## 調査検討会の構成員

### 〔主査〕

阪田 史郎 国立大学法人千葉大学 名誉教授

### 〔副主査〕

鈴木 秀和 学校法人名城大学 理工学部情報工学科 准教授

猿渡 俊介 国立大学法人大阪大学大学院 情報科学研究科 准教授

### 〔委員〕

石原 進 国立大学法人静岡大学学術院

工学領域工学部数理システム工学科 教授

岡田 啓 国立大学法人東海国立大学機構名古屋大学

未来材料・システム研究所システム創生部門 准教授

高部 佳之 一般財団法人移動無線センター 東海センター長

小池 幸永 株式会社サーキットデザイン 代表取締役社長

佐藤 和也 新潟通信機株式会社 技術部 主任

真島 太一 株式会社JVCケンウッド DXビジネス開発部

新規事業推進プロジェクトオーナー

小澤 裕 マスプロ電工株式会社 開発部 副部長

大石 通明 総務省東海総合通信局 無線通信部 部長



長塩局長

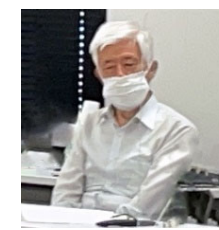
総務省東海総合通信局(局長 長塩 義樹(ながしお よしき))は、令和3年10月11日、「地域  
自営IoT無線システムの社会実証に向けた調査  
検討」第1回調査検討会を開催しました。

この調査検討は、LPWA(注)技術を活用し、移動  
通信分野のスマート化やIoT化に対応しつつ、低コストでユーザーの  
ニーズに柔軟に対応できる移動体データ通信ネットワーク(地域自  
営IoT無線システム)の制度化を目指すものです。これにより効率的  
なタクシー配車、過疎地域におけるバスロケーションシステム、集荷  
配送サービスや地域のインフラの点検・管理の効率化等の実現が  
期待されます。

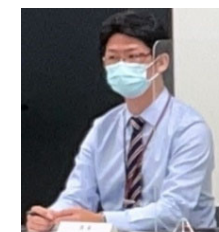
今回の調査検討会では、開会にあたり長塩局長から「東海発の新  
たな通信システムを目指して活発な議論を頂きたい」との挨拶に続  
き、委員の紹介と、調査検討会の主査に阪田史郎氏(千葉大学名  
誉教授)を、副主査に鈴木秀和氏(名城大学准教授)と猿渡俊介氏(  
大阪大学大学院准教授)を選任しました。その後、今後の取組と今  
年度予定している3回の調査検討会のスケジュール等を決定すると  
ともに、現在の移動体通信とモビリティサービスの課題とその解決  
に向けた意見交換が行われました。

当局では、引き続き電波の能率的な利用と新たな無線システムの  
普及促進に向けた取組を進めていきます。

(注) LPWA(Low Power Wide Area):省電力かつ長距離の伝送を行うことが  
できる無線通信技術



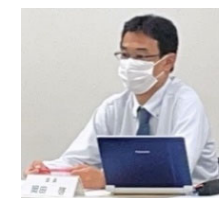
阪田主査  
(千葉大学名誉教授)



鈴木副主査  
(名城大学准教授)



猿渡副主査  
(大阪大学大学院准教授)



岡田委員  
(名古屋大学准教授)

お問合せ先 : 電波利用企画課 052-971-9143